

【文化学部】令和7年度 学部教学マネジメント計画書

3つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 学部における教学マネジメントの組織体制

文化学部教学マネジメント運営委員会を設置している。

構成は、学部長、副学部長、学科主任、教育支援研究開発センター運営委員会委員、カリキュラム委員長である。

2. 体系的かつ組織的な教育課程の編成・実施を支える各ツールの課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題

①カリキュラムマップ

令和8年度新カリキュラムに沿ったカリキュラムマップの作成。

②シラバス

令和8年度新カリキュラムにおける各科目の具体的な授業計画の作成。

③その他（カリキュラムツリー、ナンバリング等）

令和8年度新カリキュラムに基づくナンバリング等の作成。

今年度の取り組み

文化学部教学マネジメント運営委員会を中心に、新カリキュラム稼働に向けて、上記①②③に取り組む。

3. 学修成果・教育成果の把握・可視化に向けた今年度の取り組み

課題

出口における質保証および教育の質保証の可視化。

今年度の取り組み

出口における質保証等の可視化に向けた具体策の検討と必要に応じた予算化の検討。

4. 授業科目の到達目標の達成状況および学生の資質・能力の修得状況から明らかになっている課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題

出口における質保証の分析・検証。

なお、アセスメントの重要なツールのひとつとしている卒業時調査（4年次生調査）の回答率の低さも課題となっている。

今年度の取り組み

令和8年度新カリキュラムにおける実質化を目指し、アセスメント科目（演習科目）を中心とした上記課題の在り方について、継続議論する。また、卒業時調査等の回答率上昇のための方策を検討する。

アセスメントプランの取り組み

アセスメント科目名	検証方法（在学時）
・各演習科目（1～4年次）	■外部アセスメントテスト（GPS アカデミック）
	■学習成果実感調査
	■GPA
	検証方法（卒業時）
	■卒業研究・卒業論文
	■GPA
	■卒業時調査（4年次生調査）

取り組み内容（「8つの資質・能力」の達成方法など）

令和8年度新カリキュラムにおけるカリキュラムマップ等の作成と連動し、8つの資質・能力の達成方法・授業の到達目標を検討する。

その他

特になし。

※この内容は令和6年度以降、本学における教学マネジメントの一環として、本学HPへの掲載を検討します。